

- 避難所に着替えの場所がないので、更衣室をダンボールで作ったところ上からのぞかれた。その更衣室を使うときは見張りを立てるようにした。
(東日本大震災)
- 男子が同じ避難所にいる男性にわいせつな行為をされた。
ほかの男子数名も被害に遭った。
女性はもちろん子どもへの暴力や性犯罪を防ぐための取組みは大切だと思う。(東日本大震災)
- 避難所が開設されて1か月程度経過してなお、女性用更衣室が設定されず、毛布を被って着替えを強いられている避難所があった。
(熊本地震)
- 物資配布窓口で下着や衛生用品は、男性の目があると取りづらいし、男性から受け取るのは恥ずかしい。
(熊本地震)
- 授乳スペースがなかったので、赤ちゃんのいる家族は居づらかった。(熊本地震)
- 避難場所などでは男性があまり女性の身体の知識がなく、生理用品など、そんなに必要ないだろうという考えの方が多く、多くの女性はなかなか言えなかったと聞く。物資の配布や仕分けに女性も加わり、女性の声を聴いてほしい。(熊本地震)

避難所・避難先では 女性ならではの困りごと、女性や子どもに 対する暴力・犯罪がありました。

横浜市では女性の視点をいかし、子どもや要配慮者みんなの安心を広げるために
地域防災拠点における安心づくりや相談の取組みをお願いしています。

日頃の地域の防犯や見守り活動を
避難所でも活かしましょう。

何かあったとき、不自由を
感じたときに、孤立しがち。
周囲の目と支えがたよりです。

性的な嫌がらせや虐待など
尊厳を傷つける行為も犯罪です。



被害をうけたら相談を！

ストレスをためず、不安な
気持ちは、声に出して
いいんです。

女性が安心できればみんなも安心～災害時の相談先は

避難所の環境や被災生活にかかわる困りごと・・・

ひとりで抱え込まず、拠点運営委員や行政の職員に話してみましよう。

専門機関に相談したい・・・

被災状況に応じて「女性のための相談電話」などが、順次開設されます。
災害時には横浜市HPや拠点の情報掲示板を通じて相談窓口情報を
確認してください。

横浜市 相談窓口

検索